

教科 保健体育 科

科目	保健	学年・コース	1 学年	コース	単位数	1 単位	区分	必修
学習の目標		1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識・技能を身に付ける。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
教科書		現代高等保健体育 発行者:大修館書店						
補助教材等								
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1	4 5 7	「保健」学習について			「保健」学習の意義、評価の方法等の確認			1
		1 現代社会と健康 (1)健康の考え方 ア 国民の健康課題と健康の成り立ち イ 健康に関する意思決定・行動選択 ウ 健康に関する環境づくり			・国民の健康課題について、健康指標や疾病構造の変化から理解する。 ・健康の保持増進や改善のために適切な意思決定・行動選択ができる資質や能力を身に付ける。 ・ライフステージやライフスタイルに応じた各種保健活動を理解し、実生活で活用できるようにする。			6
		(2)健康の保持増進と疾病の予防 ア 生活習慣病などの予防と回復 イ 喫煙、飲酒と健康 ウ がんの原因と予防、治療と回復			・日常生活習慣と生活習慣病との関わりを理解し、規則正しい生活習慣を確立できるようにする。 ・喫煙、飲酒による健康影響について理解し、周囲への影響や取り巻く環境の変化に気付けるようにする。 ・がんの種類や発生の原因を知り、治療法や周囲の人々の支援について理解できるようにする。			8
		エ 薬物乱用とその予防 オ 精神疾患と健康 カ 感染症とその予防			・薬物乱用における心身の健康や社会に及ぼす影響を理解する。 ・精神疾患の原因と症状を学び、若年に多いことや日常生活に及ぼす影響について理解する。また、予防法や回復法には生活習慣が関わっていることを理解し、精神膝下について正しく認識できるようにする。 ・現代における感染症の変化、再興感染症と新興感染症との違いを理解する。また、若年に多いエイズなどの性感染症について正しい知識を身につける。			8
2	5 12	2 安全な社会生活 (1)交通安全 ア 事故の現状と発生要因 イ 安全な交通社会形成			・交通事故の現状を知り、車両特性、運転者の規範意識、周囲の環境が関連していることを理解する。 ・交通事故を防止するために、心身の状態や車両の特性を把握すること、個人の適切な行動選択が必要であることを理解する。また、交通事故には補償と責任があることを知る。 ・交通事故を防止するための法的な設備、施設整備、車両の安全性などを含めた、安全な社会づくりが必要であることを理解する。			6
		(2) 応急手当 ア 応急手当とその意義 イ 日常的な応急手当 ウ 心肺蘇生法			・応急手当の手順について理解し、実生活で適切な行動選択ができるような資質や能力を身につける。 ・実生活の中で起こりうるけがや病気を予測し、未然に防ぐ力を身につけるとともに正しい応急手当ができるようにする。特に、熱中症などの日常生活で多く起こる可能性がある疾病との関連を深め、正しい応急手当の手順や方法を理解する。 ・心肺蘇生法について正しい知識を身につけ、実践できるようにする。			6

評価の観点	知識・技能	・実生活において、適切な意思決定・行動選択を行うための、正しい知識を身に付けている。 ・現代社会における健康・安全について課題解決できる知識を身に付けている。
	思考・判断・表現	・他者と協同しながら、課題設定や課題解決の方法を考えることができる。 ・自分の意見を他者に適切に伝えることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	・授業に主体的に参加しようとしている。 ・発問や疑問点を仲間と積極的に考えたり、自ら深く考えることができる。